

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念を元にグループホームの基本方針である「共に笑顔で」を意識したケアに取り組んでいる。またふれあいフェスタにおいて事業所の紹介を地域に行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ふれあいフェスタ・公民館祭への作品出品などでこれまでの間接的交流から直接交流が出来る機会が少しずつ増えてきているが、コロナの影響にて地域との交流が十分とは言えない。	自己評価内に今後どのような関りを持って行くのかを記載した方がわかりやすい。 地区の人はグループホームの事を知っているがまだ不十分である。講習会などに職員が参加して捜索訓練や勉強会はしているが、実際認知症の方にどう関わればいいのかわからない部分もある。 自治会単位で関りに差があり、もっと地区にPRするとつきあいも広がる。 また地域でボランティアの方がおられ、その方々に来ていただけると関りや繋がりが増えるのではないかと。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動状況の報告は行えている。事故報告がメインとなってしまっていたが、少しずつ日々の活動について報告を行えるようになっていく。動画での日々の様子紹介も行っている。 運営推進会議等で出た課題、不足している問題についてはグループホーム会議にて話を出して解決できることについては改善の取り組みを行っている。	会議における活動状況報告は毎回受けている。 報告内容について同じような事故が多い。特に薬については人的な要因で起こるため、しっかり取り組みをして減らしてもらいたい。 報告書に写真を載せるとより普段の様子がわかって良い。 サービス内容として家族とのLINEでは連絡だけでなく写真や動画も一緒に送るなどして様子を伝えてもらいたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の場に市職員に参加していただき、グループホームの現状を伝えて意見を頂いている。また確認が必要な事については随時連絡を行い確認している。	4月に3年に1度の介護保険の報酬改訂があり、説明会に参加しておられたり、その他でも細かい点で市に連絡や確認をされていたので、市との連携は出来ている。		

5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、玄関の 施設を含めて身体拘束をしないケアに取 り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年定期的に法人研修に参加を 行い身体拘束について理解し対応 できている。 帰宅願望や興奮時の対応にいつ いてユニット間や他部署にも協力を 依頼してケアを行うように努めてい る。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束への意識は研修を通して正し くできている。実際のケアにおいても拘 束にならない様に努めている。入居者の 行動に拘束ではなく自由に行動が出来 る様なケアに努めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年定期的に法人研修に参加を 行い虐待防止について理解し対応 できている。 万が一、虐待の疑いが確認された 場合は直ちに報告・相談するよう全 職員に周知している。 また日頃から職員個々が自身のケ アの振り返りを行う指導を行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と同様に研修を通じて虐待防 止に努めている。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を知っているが、現 入居者においては活用されていな いため、学ぶ機会の支援は出来て いない。		
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約に関する説明等は十分な理解 を得られるように説明を行い、疑問 点があれば伺いながら対応を行っ ている。		
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年ご家族アンケートを実施して 要望の確認を行ったり、日々の面 会時、LINEにて要望を確認してい る。また意見箱の設置にて広く意 見を伺う機会を持っている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度もご家族アンケート実施をしてい る。 サービス内容として家族とのLINEでは 連絡だけでなく写真や動画も一緒に送 るなどして様子を伝えてられるようにし ていく。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃からの意見交換や管理者と の面談等で意見の提案を行う機会 は定期的にある。グループホーム 会議等で話を行っている。 今後意見の反映や出てきた課題を 解決する方法を見つけていく。		

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回管理者との面談を行って話をする機会を持っている。またストレスチェックの実施にて要因となっているヒントを見つけて改善策を検討して勤務時間の調整を行っている。また給与水準については法人にて処遇改善手当等での配慮を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との面談を実施して改善が必要なことはユニット会議やグループホーム会議で検討して実施に繋げている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内研修やグループホーム内研修において学ぶ機会を持つようにしているが、勤務都合等により学ぶ機会が少ない職員が存在してしまう。ユニットリーダーと職員の育成について日頃から相談を行う体制が持てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のケアに対する力量を確認して指導を行っている。指導方法のばらつきがある、リーダーと相談しながら都度改善を行って行く必要がある。業務マニュアルの活用も必要。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ数年間はコロナ禍にて法人外の同業種との交流が実施できていなかった。今後交流の機会の確保が必要と考えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と一緒に暮らす家族として日々の関わりを意識し、それぞれ出来ることでお互いに協力して日々の家事を職員と一緒にやっていただき関係構築を行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により少なかった地域に出かける機会が少しずつ増えている。面会やリモートでも面会も行い、大切な人との関係が継続できるようにしている。なじみの方が来られて面会をされている。ご家族との外出は主に受診のみの外出が多かった。	コロナの関係で中々会えない事もあったが、面会が出来るようになり良かった。知人には面会が出来るのかわからない事があり、まだコロナで会えないのではないかと考えている人も多いと思う。今後、外出の機会が増える様にしていきたい。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今の暮らしや日頃の様子を観察し、チームでの情報共有、担当職員を通じてご家族様との意見交換や意向の確認、ご本人からも希望を伺いながら行っている。日頃ポーっとしている時間が多くなりつつあり、生活の活性化を目指す必要がある。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、ご家族の希望や意向を確認してカンファレンスを行いケアプランの作成をしている。話し合いは行っているが、今後は個別の関わりの時間をもっと持ちたいと考えている。	ケアサービスについては1か月ごとに評価を実施し、サービス内容の振り返りを行っている。ご家族の意向についてはプラン見直しのタイミングで担当職員から日頃の様子をお話して意向を引き出すように心がけている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通院・受診・薬に関して担当職員からこまめに連絡を行ってもらっている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録を詳細に行い、申し送りを行い、変化があるときなどはより詳細に入力し、チーム内で情報の共有を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の記録を行い、日々の状態把握、状態の共有を行い、ケアプラン作成の際にも普段の記録を参照し活用している。今後記録をより良いケアに繋げていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前はヘルパーを利用されたりしていた方があった。現在はご本人に必要な福祉用具を外部業者の方から個別レンタルをされている。多機能化にはいたっていない。	併設されている運動施設を利用したり、福祉用具のレンタルや法人の歯科衛生士による口腔機能維持サポートを行い、グループホームで提供できないサービスがある場合には、外部資源を活用してグループホームでの生活が送れる様な支援を行っている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との関わりが、コロナのために不十分であった。地域の資源について把握が不十分である。	ボランティアや郵便局・公民館といった地域資源の活用がコロナの影響で少なかったが、今後は以前の活動内容を少しずつ再開していく事が必要ではないか。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医に関してはご家族の希望に合わせて設定している。事前の情報提供票の作成などかかりつけ医師に必要な情報を伝えられるようにして相談を随時行っている。			

				ご家族への状態の共有が不十分とならないような情報共有を行っていく必要がある。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者やケアマネ、看護師で地域連携室やご家族と情報を共有し連絡を行っている。 協力医療機関との入居者情報の共有を行い関係構築を行う必要あり。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院時には病院の地域連携室と連携を図りグループホームでの生活についての話し合いやグループホームに戻る事が難しい場合でも他施設入所についても視野に入れて話し合いを行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期について指針の整備を行い、看取り期となった場合にはご家族に説明を行っている。 また職員は研修を行いケア方法について確認を行っている。また看取り後は振り返りを実施している。 看取りについて主にご家族との話し合いとなっており、ご本人との話し合いという点は出来ていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・看取り期については主治医やご家族様と話し合いを行い、病院での看取りか施設での看取りを行うのか意向の確認を行っている。 終末期になってからではなく、元気な時にご本人から希望を伺える方には伺っておくことが今後は重要である。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の連絡体制について整えている。救命救急については研修を行って手順や注意点について確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の防災訓練を実施し、日中夜間想定訓練を実施している。 水害訓練についても訓練している。 今後は共同で訓練が出来ればと思う。	水害の際には高齢者等避難指示の連絡を受け、グループホームの入居者も本部2階に避難を行う想定訓練を実施した。 水害の際には慌てず避難を行う様に話し合っている。 大きな震災の際に崩れそうな家に戻ろうとするケースがあった。混乱されている方や避難が難しい場合には警察に頼ってもらう事も有効ではと思う。 地域を交えての訓練も今後検討していきたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	8月に地区で話し合いがあったが、法人本部の建物が地区で一番大きな建物となるので、何かあれば本部の建物に避難した方が良い。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の危険禁止行為一覧表を元にケアの内容について日頃から内容の確認を行っている。 また声の掛け方や声の大きさに気をつけて相手が不愉快にならないように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(危険禁止行為一覧は不適切なケアとならない様に委員会を中心に法人で定めているもの) 日頃の中でスピーチロックにつながる声掛けをしてしまっている場面がある(ちょっと待ってと行動を制止する事) 1人ひとりに対する尊重の気持ちを持ち、丁寧な言葉や意識出来る様にする必要がある。グループホーム内研修として認知症の方への声掛けを学ぶ機会を持っている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の意向を確認しながら対応を行っている。 職員数が少ない時には希望や意向に沿えないことがある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る作業を分担して下準備や盛り付け、調理、片づけを手伝っていただいている。 誕生日には好みのものを献立に取り入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る作業を分担して、食事につながる一連の流れに同居様がそれぞれ出来る方に関われる機会を持っていただいている。 今後は食事を楽んでいただくためにも外食も検討していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養面については必要に応じて法人の栄養士と相談を行っている。ご家族と相談して栄養補助食品や差し入れを頂いている。 食事や水分の摂取量を記載してチームで共有している。 嚥下状態に合った食事形態で刻みやブレンダーによるミキサー食等の形態で食事提供を行っている。 水分摂取量が少ない方については水分確保に色々な水分を勧めるなど水分量の確保に努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアの声掛け、介助を行っている。 口腔内の異常があった時には法人の歯科衛生士に相談を行い、歯科		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な口腔ケアと共に、ご本人から歯が痛い等のお話があった時や、食事の際に痛みで食べられない等の様子を確認し、歯科衛生士に助言を得ながらご

				受診や往診の依頼をご家族と相談して口腔状態の改善に繋がっている。			家族に連絡をして歯科往診や受診に繋がられる様にしている。 今後もトラブルに対して気づいていけるようにしていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を観察することで、随時トイレ案内を行っている。 リハビリパンツではなく布パンツを継続できるようなケアも職員同士で相談を行って取り組んでいる。 便秘に対しては必要に応じて主治医に相談を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便秘になりやすい方についてはご家族を通じて主治医に相談して下剤により定期的な排便があるようにしている。 今後、下剤に頼らない排便を目指して運動や食事面を通じた改善を目指していきたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	曜日は目安として設けているが、出来る限りご本人の気分や要望に沿って時間や日にちを変更している。 必要な方には同性の入浴介助を行うようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の状況に応じてご本人が眠れない時には食堂にて過ごしていただいている。 日中に休まれる時間が長くない様に時間を気を付けたり、活動や外気浴、散歩等で昼夜逆転とならない様気にかけている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の変更があった時には常時情報の更新を行っている。 既往歴や内服薬の全て把握できていないが、体調不良の度に都度確認を行っている。 日頃からマニュアルを遵守して事故の無い様に気をつけている。 事故発生時には内容を職員間で話し合い、手順の内容を随時確認して見直しや周知を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬事故が発生することがあった。 運営推進会議の場で意見としていただいたマニュアルが守れず事故につながったケースがあり、職員の意識を向上していく必要がある。 定期薬の内服回数や取り扱いについては日ごろの状態を確認しながら情報を適宜ご家族・主治医にお伝えして対応している。 薬が多い方だと10錠等がある。お薬の1包化で内服前の錠数確認を行っている。 内服に対して理解が難しく拒否をされる、内服がしにくい等の様子についても

							時間の変更や形状の相談も引き続き行っていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	ご家族から入居時に情報収集シートの記入をしていただき、生活に活かしている。 入居後はご本人や家族様と確認を行いながら日々支援を行っている。レクリエーション活動などを行って楽しみを持っていただくようケアプランにも内容を記載している。気分転換があまり出来ていないと感じる。	<p>コロナウイルスの影響でなかなか出られなかったが、中でも楽しみ事として、自宅でも農作業を行っていた昔の楽しみを今でも取り組めるようにしてもらえて嬉しい。</p> <p>これからは外出や外に出掛けての楽しみを増やしてもらいたい。</p> <p>これまでは外出に二の足を踏むこともあったが、現在紅葉の外出ドライブを実施している。</p> <p>個別的なドライブにも取り組みを考えている。</p> <p>レクリエーション・イベントでは職員が工夫して盛り上げている。そのようなイベントを入居者さんも楽しんでおられた。イベントを楽しんでいただく姿勢が見られていた。</p> <p>今後は自宅にいた様な嗜好品などを活動の楽しみを見つけていただきたい。</p>		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	その日、その時の希望としては応えられていないが、少しずつ個別の外出の機会を持っている。 地域の中に外出という点では少ないと思う。 今後はご家族の協力も得て病院以外に出かけるようにしていきたい。	<p>外に出掛ける機会をもう少し持てたら、本人が行きたい所例えば美術品を見るのが好きな方は、イベント開催期間中に美術館に出掛ける。</p> <p>思いをうまく伝えられない方にはご家族に伺い出掛けたいと思う。</p> <p>以前家族、職員、入居者で花回廊に外出に出掛ける事もあったので、声を掛けてもらったら出掛けたい。</p> <p>(インフルエンザなどの感染症流行期を避けて)</p> <p>地域での菜の花・ひまわり畑・蓮などあればそこにも出掛けてみたい。</p>		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>お金を持つことで安心される方についてはご家族と相談の上で自己管理をしていただいている。</p> <p>自己管理されているお金については使用する機会は少なく、職員がサポート出来ていない。</p> <p>ご本人とは別で事務内に小口現金としてお金をお預かりしており、必要時にはそちらから使用し、使用状況は毎月ご家族に報告を行っている。</p>			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>ご自分で携帯電話を持っておられる機会がある。施設のタブレットを使用しているオンライン面会やLINEにて写真を送っていただき写真を見られる機会がある。</p> <p>その他に手紙のやり取りをされる方もある。</p>			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>感染対策の亚克力板が撤去されてからは入居者同士がお話をされる機会も多くなっている。</p> <p>入居者それぞれの方に応じた居室環境を、共用スペースでは観葉植物を飾り、廊下のベンチやソファ一、テラスでお話をされたり日光浴をされる様子が見られている。</p> <p>職員は入居者の行動に合わせて危険の無い様な空間作りを随時話し合いを行い作っている。</p> <p>食堂には季節に応じた飾りを掲示しているが、今後も季節感をもっと感じられる様な空間が作れるようにしていきたい。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>現在ユニットの食堂環境の見直しを行う予定をしている。</p> <p>玄関やテラスには植物を植えたり、園芸サークル活動を行い、季節感を感じられる心地の良い環境を作っている。</p>
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>ご本人の意向を確認しながらケアプランに繋げてケアを行っている。</p> <p>積極的にお手伝いが可能な方もおられ、洗い物やベランダのプランタ</p>			

				<p>一で季節の花を育てておられる方もおられる。</p> <p>認知症の進行から混乱される方もおられ、なかなかご本人の意向をくみ取れない場合もあり、十分な関わりが出来ていないと思うこともある。</p>			
41		<p>本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>家事がお好きな方には家事を行っていただいたり、運動が好きであったり、新聞を読むことが日課であった方には習慣が継続出来るようにしている。また友人との面会や親戚の方との電話連絡などの支援を行っている。</p> <p>入居前からの生活歴から伺ったことを元にケアに繋げているが、段々とグループホーム内での生活に合わせたケアが多くなっている。今後はこれまでの生活歴につながる様なケアも今後は考えていきたい。</p>			
42		<p>本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>体調面については日々観察を行って、必要に応じて看護師、ご家族、主治医と連携を図り体調管理を行っている。</p> <p>器械運動が可能な方には器械運動を主治医と相談して取り組んでいる。</p> <p>ご自分からうまく体調について表現できない方もあり、日々の様子を記録して、チームにて共有し、ちょっとした変化があれば相談や連絡をすみやかに行うように心がけている。</p>		<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>日々の体調観察として、現在毎日の検温と血圧測定を行い、少しでも体調の変化に早く気づける体制をとっている。今後も主治医・ご家族・職員が連携して健康状態が維持できるような支援を行っていく。</p>
43	生活の継続性	<p>本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>ご自分のペースに合わせて介助を行い、環境や行動に危険な時があれば職員が状態観察や介助を行い対応している。</p> <p>また体調の観察と配慮を行いながら調子の良いタイミングでこれまで</p>			

				続けてこられた包丁ときの役割等 を続けていただいている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室には仏壇を設置したり、写真を飾ったりしている。ご家族が買ってこられたお守りを身に着けていただいていたたり、お化粧や化粧道具を大切にされている方もある。自分にとって大切なものや大事にされている物があればかばんや居室で管理されている。ご自分の私物管理が難しい方については職員が介入して管理を行っているが、中にはなじみの物が増やせる提案が行えていない方もある。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室内はご家族と相談をしながらベッドなどの環境を整えている。ご自宅で使用されていたテーブルや椅子などを持参していただき、それぞれの居室環境を整えて、ご自身の部屋と認識が持てる様な環境を整えていきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出が出来る期間と、感染対策から外出を控える期間があり、地域や外出支援がなかなか行えないことがあった。地域のお祭りに出かける、買い物やドライブ等の外出や個別の外出も、少しずつ出かけることが出来る。また法人の別事業所の行事と一緒に参加したりする機会もあった。今後はその日、その時、「〇〇に行きたい」といった意向や気分での外出に対応が出来るようになればと思っている。	公民館祭以外でイベントは歌の講座が予定されている。公民館の2階で開催となり、なかなか階段の上がり降りが難しい。歌が好きな方がおられるが、身体機能的に2階に上がるのは難しい。歌を歌う事で嚙下機能の維持にもつながると思う。地域イベントで毎年行っている事の情報収集がうまくできていない。今後は運営推進会議の場で教えていただいた情報を元にみのりの里から顔を出して顔なじみの関係を作れたらと思う。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	プライドや自尊心が傷つかない様に配慮し、家事など出来ることが続けられる様な支援を行い「人の役に立てている」という気持ちを持っていただけるよう心がけている。ご本人の状態観察を行い、出来る範囲が少しずつ広がればと思う			

				ともあるが、関わる時間が少なくいろいろなことを試すことが出来ていないと感じることもある。 今後の関わりで出来ることや楽しみを見つけられる可能性が広がればと思う。			
47	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	色々な家事を通じて笑顔が見られており、職員は日ごろから笑顔が出るような声掛けを心がけている。特にレクリエーションの時間には積極的にコミュニケーションを図り笑顔を引き出していけるように心がけている。 また入居者同士ベンチやソファに座りお話をされていたり新聞の内容でお話をされていたりする様子が共有スペースで見られている。一方では耳が遠く、うまく会話が行えていない方もおられるので職員との会話では笑顔で話をされている。 今後は身体能力を活かした活動の幅を広げ、職員と入居者とのゆっくり会話をする時間を楽しめる支援を行いたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ期間中の評価となり内にこもった評価コメントとなっている。 個人の役割をもっといただきそれぞれが活躍できる場面を作っていきたい。 コロナによる制限も少しずつ緩和されてきているこれからインフルエンザ等が流行る時期となり、また制限のある状況は出てくるかもしれないが、日常とは何かを考え、ご本人の身体能力を活かし活動の幅を広げていく。	
48	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域活動係が中心となって作品作りを通じて関わりが途切れない様になっている。 また公民館祭に作品の出展やお祭りに参加される方もある。 日頃はよらいやを利用される方が外を運動中に手を振り返すあいさつをする交流は持っているが、受け身でありこちらから地域へ出かけていくことが少ない。	評価を行った際には令和5年度の活動状況は地域に出掛けたりする事は少なく、受け身であった。 現在は少しずつコロナ以前の活動を再開しておりボランティアさんの受け入れを行っている。 これまで傾聴のボランティアやアニマルセラピーといったものから、踊りのボランティア、フラワーアレンジメントの再開も行われ、色々な人の力を借りて関わりが出来るようになってきている。 公民館祭への作品出展は継続していきたい。			

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>体力の低下や状態の変化に合わせて対応が困難になってきていると感じる場面もある。 一方で以前帰宅願望の強かった方がグループホームでの生活に慣れて徐々に落ち着いてこられていることもある。 他事業所の職員やよらいやを利用される地域の方が入居者に声をかけてくださっている。 今後色々な方との関わりが増え、安心した日々を過ごすことが出来るような関わりや支援を行っていく必要がある。</p>	<p>コロナ感染を意識した制限による地域との交流が少ない日々であったが、5 類に移行されて以降は徐々に制限の緩和もされている。 意見として頂いた地区の運動会や公民館祭などコロナ前に出かけていたところに再訪する事から関わりを増やしていくきっかけにされてはどうか。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>オレンジカフェといった認知症カフェの再開をやってみても良いのでは？ その他の普段の活動として法人の福祉車両を見るくらいで、地域で動かされる様子はあまりピンと来ないこともある。 自分たちの活動のアピールが不足しているからと思われる。自分たちの活動を色々な人に向けての活動発信を行って行きたい。</p>
----	----	---------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------